綾瀬市立図書館パスファインダー
2021 年 12 月　発行

綾瀬市立図書館
住所：〒252-1107　綾瀬市深谷中 1-3-1
電話：0467-77-8191
ホームページ：https://www.ayaselib.jp/

SDGs：「貧困」について調べる（高学年向け）

SDGsとは、日本語では「持続可能な開発目標」と訳され、2016年から2030年までの１５年間で人類が達成すべき１７個の目標をあらわす言葉です。小学生のみなさんは学校でもさまざまな教科で、SDGsに関わることを学んでいるはずです。
１７個ある目標のひとつめにかかげられているのは「貧困をなくそう」。
貧困ってどういうことだろう？困ったときにはどうすればいいのかな？
じつは身近なこの問題について、図書館で調べてみましょう。

キーワードを見つけよう

図書館にある本は、検索機（ＯＰＡＣといいます）に「キーワード」を入力して探すことができます。いくつかの「キーワード」を組み合わせることで、より探しやすくなります。

貧困　福祉　SDGs　子ども　教育　格差
サステナブル　食品ロス　ユニセフ　権利
開発途上国　厚生労働省　子ども食堂
フードバンク　神奈川県　綾瀬市　など

１　まずは「SDGs」について知ろう

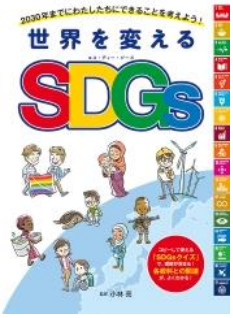
『知っていますか？SDGs』

公益財団法人　日本ユニセフ協会／制作協力　さ・え・ら書房（333）

ユニセフの活動をもとにして、SDGs のテーマごとに、世界の子どもたちに起こっていることや課題について、写真とともにしょうかいします。

『世界を変える SDGs』

小林　亮／監修　あかね書房（333）



「SDGs を知るおはなし」や、SDGs の１７個の目標にまつわるクイズをとおして、SDGs の取組みを理解することができます。

『こども SDGs』　秋山　宏次郎／監修　バウンド／著　カンゼン（333）
『１２歳までに身につけたい SDGs の超きほん』　蟹江　憲史／監修　朝日新聞出版（333）
『SDGs』　日能研教務部／企画・編集　日能研／発行　みくに出版／発売（333）

2　日本と世界の子どもたちの現状を知ろう

日本と世界で子どもたちのかかえている問題にはどんなちがいがあるのだろう

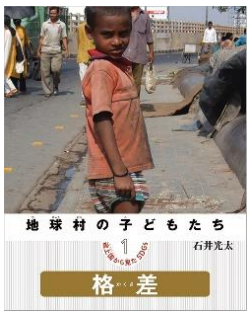
『みんなのチャンス』

石井　光太／著　少年写真新聞社（367）

路上で生活したり、働いたりしなければならない子どもたちは４億人もいる。家もなく、学校にも通えず、食べるために働かなければならない暮らしとはどんなものだろう。

『地球村の子どもたち(全4巻)』

石井　光太／写真・文　少年写真新聞社（333）



私たちの生活が、よその国で子どもたちが死んでいく原因になっているかもしれない…

１巻『格差』では、児童労働、ストリートチルドレンといった問題やその支援についてしょうかいし、格差について考えます。

『わたしは女の子だから』

ローズマリー･マカーニー　ジェン･オールバー

国際 NGO プラン･インターナショナル／文　西田　佳子／訳　西村書店（367）

貧しさは教育をうけるチャンスや将来の夢もうばいます。世界の苦しい境遇で暮らしながらも、前を向き進む女の子たちの姿は、貧困を断ち切るための力強い可能性を示しています。

『考えよう！子どもの貧困』

中嶋　哲彦／監修　PHP 研究所（369）

日本でも貧困の状態でくらしている子どもたちや、働いているのに貧困の状態からぬけだせない人がいます。その原因となる社会のしくみや、だれにでも起こるかもしれないきっかけをイラストや表を交えて解説しています。

『シリーズ･貧困を考える(全3巻)』 池上　彰／監修　稲葉　茂勝／著　ミネルヴァ書房（368）

『1. 世界の貧困･日本の貧困』

１巻では、世界や日本の貧困のようすについて、地域ごとの特徴をみていきます。戦争や病気、異常気象など、貧困の原因となる社会問題や歴史的背景についても考えていきます。

『3. 子どもの貧困･大人の貧困』

３巻では、子どもの貧困の原因として「貧困の世代間連鎖」に着目。貧困によるいじめや不登校などの問題にもふれています。キャリア教育の大切さについても分かります。

『統計から見えてくる世界のミライ』　井田　仁康／監修　学研プラス（350）

『シリーズ知ってほしい！世界の子どもたち（全３巻）』　米倉　史隆／写真・文　新日本出版社（367）

3 「貧困」を解決するためのしくみや組織を知ろう

すべての人々を守り、支えるためにどんなしくみがあるのだろう

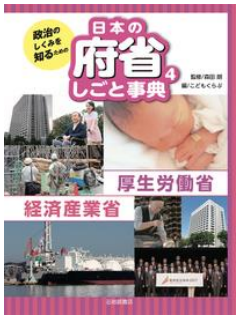
『国際組織』

渡部　茂己・阿部　浩己／監修　ポプラ社(329)

世界の子どもたちの命と健康を守るために活動している国連機関「国連児童基金(UNICEF)」や、発展途上国に教育や職業訓練の面でも支援を行う日本の組織「国際協力機構(JICA)」などについて解説しています。

『政治のしくみを知るための日本の府省しごと事典(全7巻)』

森田　朗／監修　岩崎書店(317)



４巻『厚生労働省・経済産業省』では、人が生まれてから老後まで、人の一生に深く関係する厚生労働省を取り上げています。児童や老人、生活に困っている人への保護や援助について分かります。

『福祉がわかるシリーズ(全3巻)』 池上　彰／監修　稲葉　茂勝／著　ミネルヴァ書房（369）

『1. 福祉ってなに？』

１巻では、「福祉」という言葉の成り立ちや法律のしくみなど基本的な考えや、海外と比較した日本の子どもたちの貧困の特徴や現状を解説。

『2. 3つの福祉とは？』

２巻では、「特別支援教育って？」「障がい者ってどういう人？」など、児童、高齢者、障がい者と大きく３つの分野にわけたときの、福祉の法律・受けられる　サービスについてしょうかい。

4　子どもが持っている「権利」を知ろう

世界中のすべての子どもは、心も体も健康に、自分らしく育つ権利がある

『きみはどう考える？人権ってなんだろう(全3巻)』

喜多　明人／監修　汐文社（316）

１巻『自分の好きな服が着たい！大切にしたい、自分の気持ち』では、「親が働けなくなって生活にこまったら、助けてもらえるの？」などの例をあげながら、子どもの権利を守るための制度や法律を解説。相談窓口もけいさい。

『こども六法』

山崎　聡一郎／著　伊藤　ハムスター／絵　弘文堂（320）

法律は自分を守る力になる！「子どもは生きるための世話をしてもらう権利がある」「助けてくれる大人は必ずいる！」など、いざというときにあなたを助ける、法律という社会のルールを学ぼう。

『おとなを動かす悩み相談クエスト』 山崎　聡一郎／監修　森井　ケンシロウ／漫画　古城　宏／漫画原作　小学館（371）

5 「貧困」をテーマにしたよみものを読んでみよう

読んでみて何を感じた？自分だったらどうするだろう？

『みんなはアイスをなめている』

安田　夏菜／作　黒須　高嶺／絵　講談社（ヤス）

住むところや着るものはある。お母さんも精いっぱい働いている。でも給食費や歯医者に通うお金はない…日本の子どもたちが直面しているかもしれない問題がテーマの物語です。

『こどもしょくどう』

足立　紳／原作　ひろはた　えりこ／文　汐文社（ヒロ）

車で生活し、親がもどってくるのを待つ姉妹と食堂の子どもユウトとの関わりの中で、「なぜ子ども食堂が必要とされるのか」をえがきます。正解が分からず迷うユウトの両親の姿も印象的です。

『きょうはおかねがないひ』 ケイト・ミルナー／さく　こでら　あつこ／やく　合同出版（E）

『八月のひかり』　中島　信子／著　汐文社（ナカ）

6 インターネットで調べてみよう(2021 年 11 月現在)

・外務省（キッズ外務省）

『日本は世界の国（開発途上国）にどんな協力をしているの？』

（トップページ＞会見・発表・広報＞広報・パンフレット・刊行物＞キッズ外務省＞みんなの質問）

https://www.mofa.go.jp/mofaj/kids/q_a/enjyo.html

・フードバンクかながわ

https://www.fb-kanagawa.com/index.html

・法務省

『子どもの人権110番』

（トップページ＞政策・審議会等＞国民の基本的な権利の実現＞人権擁護局フロントページ＞人権相談＞子どもの人権 110 番）

https://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken112.html

◆しょうかいしている本のタイトルのあとにあるカッコの数字は、「請求記号」といいます。図書館の本は、この数字の順番で本だなに並んでいて、数字は本の背中に書いてあります。本を探す手がかりにしましょう。

◆調べた本のタイトルやウェブサイトの名前は必ず記録しましょう。

◆インターネットに書かれた情報は、必ずしも正しいとは限りません。そのページを作った人がだれか分からないときは、そのまますぐに信じず、ほかのウェブサイトや本でも同じことが書かれているか、よく確かめましょう。

◆うまく本が見つからないときは、図書館司書に質問してください。調べたいことがのっている本を探すお手伝いをします。